



江戸時代から続く
伝統の技法を今に残す。

馬上からバツサリと斬りかかる上杉謙信、すかさず立ち上がり軍配で受け止める武田信玄。槍を持つ山本勘助の立ち姿もひととき凛々しく、川中島の合戦を再現した見事な演技が、会場に集まった大勢の観衆の視線を集めます。

例年7月9・10日の両日、知覧の「豊玉姫神社」で行われる国選択無形民俗文化財の「水車からくり」。この「からくり」は水車を利用した心棒1個のみの伝動力をもとに、数え切れないほどの木製の歯車により人形を操るのが特長です。那須与一の晴れ姿や宮本武蔵、源義経など、浄瑠璃



「水車からくり」で用いられる人形づくりは、地元の保存会によって受け継がれ、歴史を中心にした物語が忠実に再現されている。

人形を思わせる歴史上の英雄たちが個性的で絶妙な動きを見せてくれます。毎年、趣向を凝らした新作が登場し、観客の期待に応えています。

会場となる豊玉姫神社は、山幸彦の妻の豊玉姫を主祭神として祀っています。この「水車からくり」は江戸時代に始まり、一時中断したものの昭和54年(1979年)に復興、再開されました。

.....【祭りの舞台】.....

豊玉姫神社

開催日： 7月9・10日
住 所： 南九州市知覧町郡16510
交 通： 鹿児島中央駅(知覧行き)バスのりばより
鹿児島交通バス(知覧行き)で80分、
知覧バスセンターより徒歩10分。
駐車場： 約50台(無料)
TEL： 0993-83-4433(南九州市教育委員会文化財課)



残したい
伝統芸能



第1回



【南九州市 知覧町】

水車からくり

国選択無形民俗文化財

鹿児島に古くから伝わる地域の祭りや伝統行事。今回は南九州市で行われる、「水車からくり」をご紹介します。